



# 低NOx燃焼技術を実装したアンモニア-酸素バーナ

- 2019年まで内閣府SIP「エネルギーキャリア」に参画
- 酸素富化燃焼とアンモニア燃焼を組み合わせることで、天然ガス-空気燃焼と同等の加熱性能を達成
- ステージング燃焼との組み合わせで排ガス中のNOx濃度150ppm以下を達成
- AGC(株)、産総研、東北大と共同で取り組んでいるNEDO事業「燃料アンモニア利用・生産技術開発」において、今般、世界初となる実生産炉でのアンモニアを燃料に利用したガラス製造の実証試験に成功。

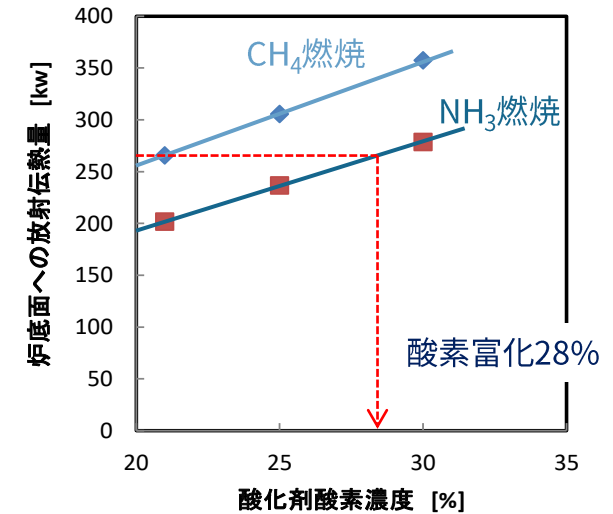


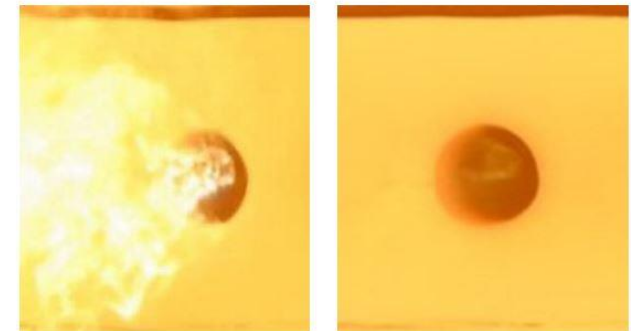
Fig. 炉下面への放射伝熱量に対する酸素富化の影響



Fig. 今回実証試験を行ったガラス溶解炉



Fig. アンモニア燃料の貯蔵タンク



都市ガス 100%

アンモニア 100%  
(アンモニア火炎は輝度が低いため見えづらい)

Fig. 専用バーナーで燃焼しているガラス溶解炉内部の様子

